

活動の感想

- ・4月よりこども食堂「せいなん」のホームページができ、参加申し込みもそこからしていただくようになっています。たくさんの方にご覧いただき、ご利用いただきたいです。
- ・スマホやタブレットから放出する「ブルーライト」による悪影響で頭痛を訴えるお子さんが小児科でも急増しているそうです。この危険な信号を健全信号に戻すことができるのは親だけですが、今の生活スタイルを変えるのはなかなか難しいのも現実。そんなパパさんママさん、そして壊れていくお子様が、健全な心で育ち、愛が与えられ、人と触れ合うことができる時間を提供する安心な居場所、空間づくりをしたいと願っています。
- ・将来社会を担う子どもたちを健全に育てるのは、地域のおとなの方々と私たちというビジョンを共有しながら、この活動を皆さんでつくりあげたいと願っています。子どもたちと一緒に食事をし、顔を見ながら会話するだけで、子どもたちはそこが自分の居場所となり、心の触れ合いを感じ、必ずや実りある人生を歩んでいくきっかけとなります。
- ・おひとり暮らしの高齢の方の居場所サポートにもなることを願っています。
- ・5月から盛岡市子ども・子育て支援事業として経済サポートをしていただけることになり、盛岡市副市長と関係者の方が視察にいらっしゃいました。
- ・調理のボランティアをしてくださる方々が増えました。なんらかのかたちで手伝いたいという想いを持ってくださる方が地域におられるのがとても嬉しく感じました。
- ・リピーターの紹介や、マ・シェリ誌の掲示板を見て初めて食事参加される方もあり、嬉しい出会いでした。「とても居心地の良い雰囲気ですね」との感想もいただき、皆様がそう思って過ごしてくださることが何よりです。
- ・「カラオケ合衆国」さんが快く駐車場を貸してくださり豊かなご協力に本当に感謝です。一方居場所を求めつつも足を踏み入れることができないで妬む人の妨害もあり、そのような方こそ、ぜひ一度食べにいらしてみるといいなと歓迎したい気持ちです。

今後の課題

- ・こども食堂「せいなん」が1年間守られて感謝です。衛生面や外遊びの安全面への注意を怠らずに行っていきたいです。
- ・メニューを決める際に、季節の旬のものや、野菜の豊富で安い時期などを把握することが大切であるとわかったので、今後に生かしたいです。
- ・6月は「せいなん」初めてのイベントを行うので、大人もこどもたちも楽しめる工夫をしていきたいです。